

# HADANOKKO × KITCHEN

契約検査課 高橋 聡子

生活環境課 糟谷 英介

交通住宅課 横溝 悠士

情報指令課 青木 季道

《アドバイザー》

はだの魅力づくり推進課 旗川 武



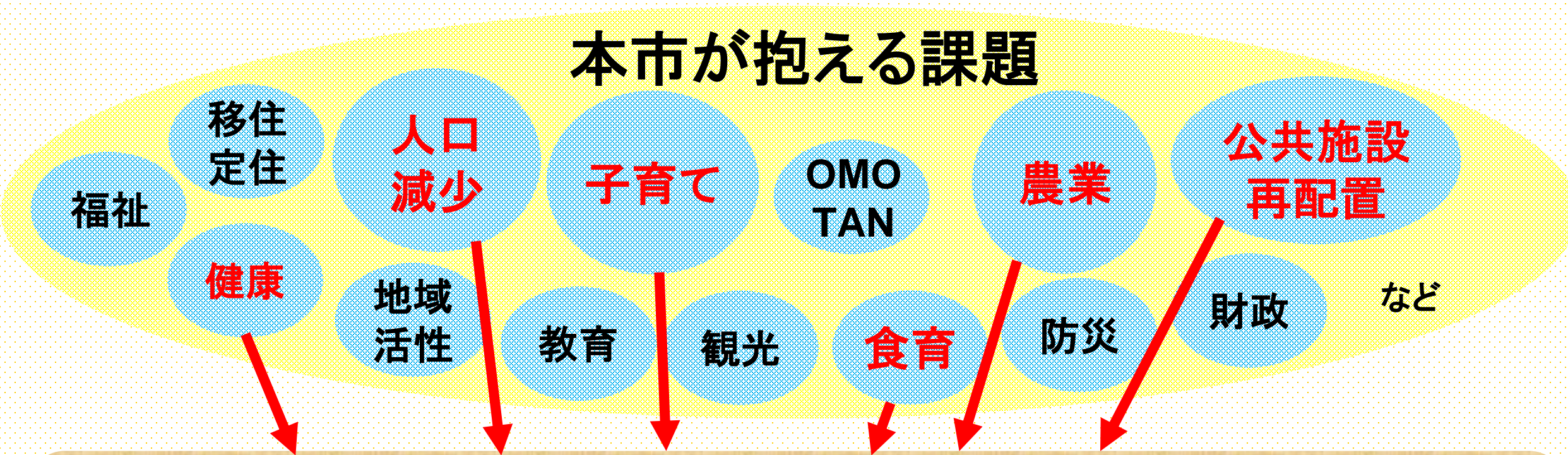
# 目次

1. はじめに
2. 秦野市学校給食センター
3. 先進事例紹介
4. 提言①
5. 提言②
6. 提言③
7. まとめ

# 1. はじめに

# はじめに

## 本市が抱える課題



秦野市学校給食センター(はだのっ子キッチン)の機能を有効活用して社会的課題への対応を目指す

## 2. 秦野市学校給食センター ～はだのっ子キッチン～



# 学校給食について

昭和36年から小学校全校で、主食・副食・牛乳の「完全給食」を実施

中学校は家庭から持参弁当を基本とする「牛乳給食」を実施

平成16年から弁当を用意できない時のために「業者弁当」を導入

家庭の弁当は生徒一人ひとりに合わせて用意され、家庭内のコミュニケーションにもつながるなど、食育に大きな効果がある。

しかし

社会経済環境の変化に伴い弁当の準備が困難な家庭が増える中、**子育て支援の観点**から、全国的に**中学校で完全給食**が実施されている。

# 中学校給食事業について

## 事業の目的

- 未来を担う子供たちの心身ともに**健全な育成**
- **子育て支援策**としての保護者の負担軽減
- 学校給食事業を通じた**地域振興**



ハーベストネクストグループからの事業提案の概要

## 事業コンセプト 秦野市の未来を創造する学校給食の実現



＜ハーベストネクストグループ＞

代表企業	ハーベストネクスト
構成企業	株式会社 櫻田建設
構成企業	株式会社 中西製作
構成企業	株式会社 関野建設
構成企業	平田建築設計 株式会社

## 給食センターの整備

- 公募型プロポーザル方式により「ハーベストネクストグループ」を選定
- 令和3年9月30日・完成



# 秦野市学校給食センター(はだのっ子キッチン)

所在地	秦野市曾屋830-1
開設	令和3年12月1日
愛称	はだのっ子キッチン
食数	約4,350食/日 ( <u>最大調理能力:4,500食/日</u> )
給食費	330円/食
稼働日数	約200日/年
受配校	中学校9校
付属施設	食物アレルギー専用調理室、会議研修室、 見学通路、市職員事務室





# 秦野市学校給食センター(はだのっ子キッチン)

アレルギーに対応



地産地消への取り組み

## 3つの取り組み

子どもたちの心身ともに健全な成長と、将来にわたる健康的な生活のために、保護者・学校及び行政が連携し、学校給食を共通の課題としながら様々な取り組みを進めます。

## アレルギーがあっても一緒に食べられる給食！

食物アレルギーを持つ生徒には、特定原材料の7品目を除去した食物アレルギー対応食を提供します。また、一人ひとりに配慮を行うことで、安心して給食を摂れるようにします。



## 食育や地産地消への取り組み！

地元の新鮮な食材を積極的に取り入れます。また、給食だよりの発行や食育イベントを実施し、地場産物などへの理解を深め、地産地消を推進します。



## 季節や行事に合わせて、嫌いなものでも食べられる献立！

旬のものを積極的に取り入れた季節感ある献立。また、行事に合わせて献立の工夫を行います。

献立を工夫



## 秦野市農業協同組合と地場産品の活用に関する協定の締結

中学校給食の食材のうち、青果類（野菜・きのこ・果物等）については、秦野市農業協同組合に納入していただくため、生産者の顔がわかるほか、地場産物を中心とした給食を提供することで、地産地消を推進します。地域で採れた新鮮な野菜等をふんだんに使った中学校給食で生徒の皆さんの成長をサポートします。



【秦野市農業協同組合の皆さん】

# 給食センターの課題

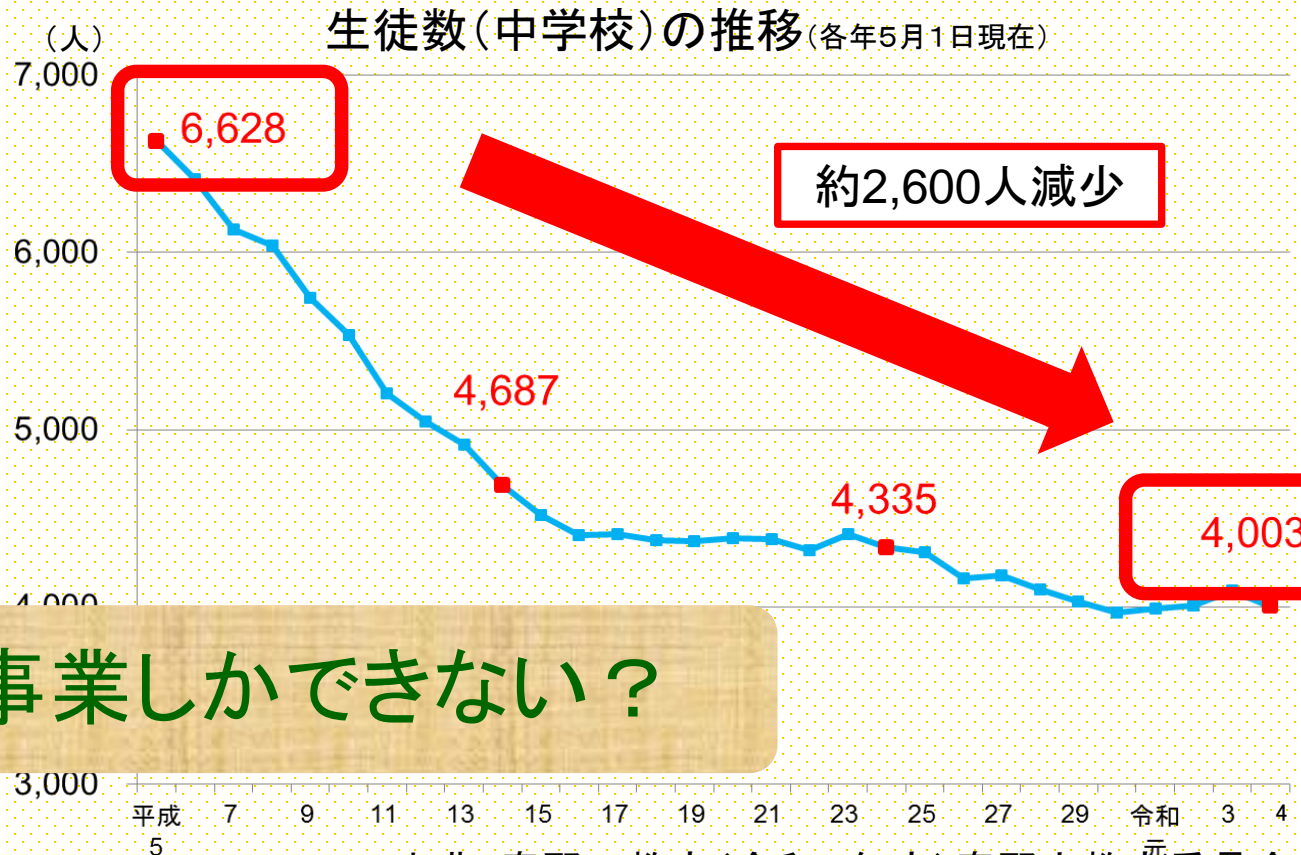
中学校9校の給食

生徒数は減少...

給食センターは学校給食事業しかできない？

なんだかもったいない...市民のために何か出来ることは無いか？

給食センターを活用した新たな施策を検討



出典: 秦野の教育(令和4年度) 秦野市教育委員会

### 3. 先進事例紹介 ～八王子市～

 **はちっこキッチン**

# 学校給食センター元横山（視察先）

所在地	東京都八王子市元横山町1-29-18
開設	令和2年4月
愛称	はちっこキッチン
食数	2,500食/日
給食費	300円/食
学童給食費	250円/食（R1～R3は300円/日）
受配校	中学校5校
付属施設	食物アレルギー専用調理室、会議研修室、 見学通路、市職員事務室





# 八王子市の給食提供方式

令和2年4月より3施設で供用開始。  
令和6年度までに全中学校の給食を  
センター方式での提供を目指す。

令和4年(2022年)1月現在

## はちっこキッチン 元横山 施設紹介



配 送 校: 第一中学校 第五中学校 ひよどり山中学校 石川中学校 打越中学校



八王子市教育委員会 学校教育部 学校給食課  
八王子市 学校給食センター元横山  
〒192-0063 東京都八王子市元横山町一丁目29番18号  
TEL 042-649-3857 FAX 042-649-3855



デリバリーランチ方式	自校方式	親子方式	センター方式
民間の調理設備で調理した給食をランチボックス(弁当箱)に詰めて配送	学校内にある給食室でその学校分のみ調理	近隣の小学校の給食室(親)で中学校(子)分も調理して配送	複数の学校の給食を一括で調理して配送
14校	2校	6校	16校

写真1 デリバリーランチ方式の給食



写真2 自校・親子・センター方式の給食



出典:八王子市学校給食課



# はちっこキッチンの取組

## ● 夏休み期間中の食材加工



地産地消

## ● 地元食材や姉妹都市の食材を使用



郷土愛醸成

## ● イベントの開催



体験・周知



# 3. 提言①

JIDOKKO × KITCHEN

# 提言① JIDOKKO × KITCHEN

## ～学童保育とはだのっ子キッチン～

### 提言の目的

給食センターを活用して、学童保育を利用する保護者の負担を軽減すること。

# 学童保育の状況

- 小学校1年生から4年生までを対象に、全小学校の敷地内に教室を設置し、放課後児童ホーム（以下「児童ホーム」）を運営している。
- 民間学童には補助金を交付し、令和4年4月時点で、8法人20教室が運営されている。

児童ホーム及び民間学童の教室数の推移（各年度4月1日時点）

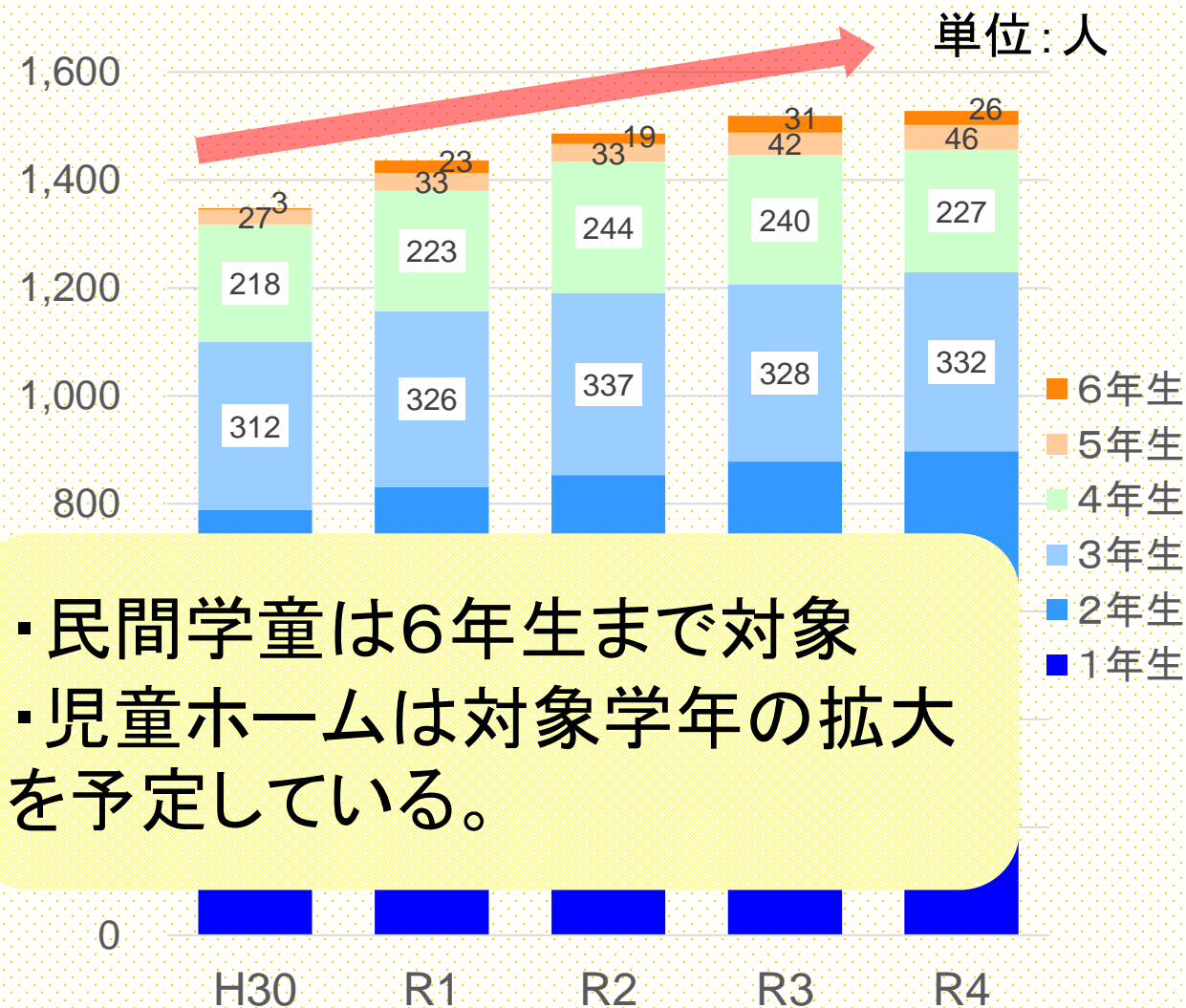
単位：教室

年度	H30	R1	R2	R3	R4
児童ホーム	28	28	28	28	28
民間学童	12	16	17	18	20

# 学童保育の利用者数

学年	公／民	H30	R1	R2	R3	R4
1年生	児童ホーム	346	354	349	366	342
	民間学童	54	77	88	102	118
2年生	児童ホーム	340	332	346	319	331
	民間学童	48	68	70	91	106
3年生	児童ホーム	273	270	277	267	247
	民間学童	39	56	60	61	85
4年生	児童ホーム	179	181	195	185	193
	民間学童	39	42	49	55	34
5年生	民間学童	27	33	33	42	46
6年生	民間学童	3	23	19	31	26
合計	児童ホーム	1,138	1,137	1,167	1,137	1,113
	民間学童	210	299	319	382	415
	計	1,348	1,436	1,486	1,519	1,528

## 入室児童数の推移(各年度4月1日時点)



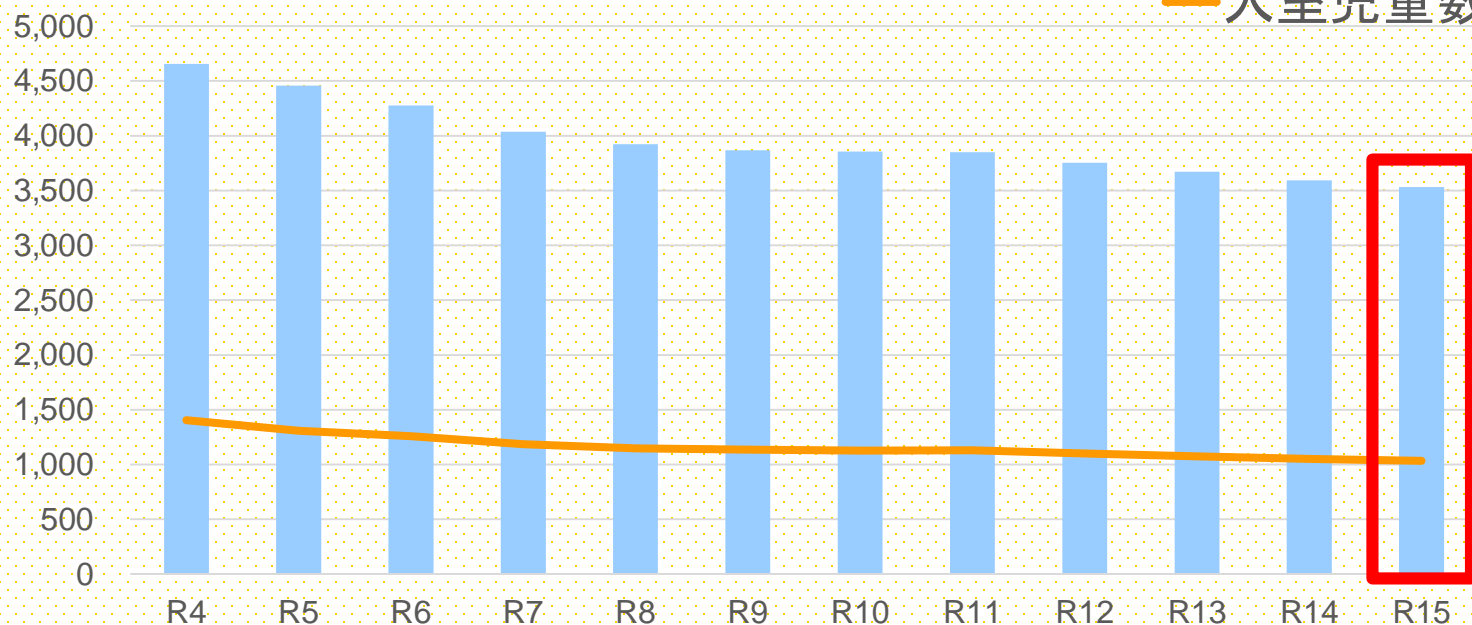
- ・民間学童は6年生まで対象
- ・児童ホームは対象学年の拡大を予定している。

# 利用者数の将来推計

● 児童数の減少に伴い児童ホーム入室児童数も減少

入室児童数等の将来推計

■ 児童数  
— 入室児童数



【児童数】1～4年生の将来推計

【入室児童数】児童数 × 入室率 × 拡大増加率

【入室率】過去5年間(H30-R4)の平均入室率

【拡大増加率】6年生まで拡大した場合の児童数の増加率

(人)

項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
児童数	4,657	4,457	4,275	4,038	3,924	3,868	3,856	3,851	3,755	3,673	3,593	3,533
入室児童数	1,404	1,309	1,258	1,186	1,148	1,135	1,127	1,130	1,101	1,074	1,051	1,034

# 児童ホームへのニーズ

## 児童ホームに関するアンケート調査（令和3年5月実施）

【問：週（平日のみ）にどの程度利用していますか。】

選択肢	回答数	割合
①毎日（月～金曜日）	408	51.7%
②4～3日	299	37.8%
③2～1日	65	8.2%
④1日以下	7	0.9%
未回答	11	1.4%
合計	790	100.0%

併せて約90%

【問：長期休み（春・夏・冬）の期間中、何年生まで利用させたいと思いますか。】

選択肢	回答数	割合
①2年生以下まで	24	3.0%
②3年生まで	65	8.2%
③4年生まで	213	27.0%
④5年生まで	67	8.5%
⑤6年生まで	381	48.2%
未回答	40	5.1%
合計	790	100.0%

4年生以上まで希望が約84%



# 児童ホームへのニーズ

## 児童ホームに関するアンケート調査（令和3年5月実施）

【問：今後、児童ホームにどのような活動を望みますか】

【飲食・おやつ】

- ・夏休み期間中はお弁当の対応をしてほしい（児童ホームで発注など）
- ・おやつを復活してほしい
- ・おやつを健康的なもの（果物など）にしてほしい

【問：長期休み（春・夏・冬）の期間中、何年生まで利用させたいと思いますか。】

【「2年生以下まで」の理由】（抜粋）

- ・基本的に上の子どもたちが大きいので長期休みは利用しない
- ・お弁当、送迎が保護者としては大変
- ・長期休み中はそばにいたい

【「3年生以下まで」の理由】（抜粋）

- ・4年生以降には単独で下校、習い事への徒歩移動ができるようになる
- ・毎日のお弁当作りが負担
- ・家に一人でいさせても安心な年齢
- ・本人の意思もあり、あまり利用しない

# 児童ホームの課題

課題

毎朝、出勤前  
は慌ただしい

夏のお弁当は  
安全面・衛生面  
が心配

夏休みの児童ホームは利用希望が多いのに、毎日のお弁当作りが保護者の負担になっている。

給食センターを活用して保護者の負担を軽減できないか？

児童ホームで給食を提供しよう！

# 学童での給食提供

## ●八王子市での導入事例

- ・令和元年度から事業開始
- ・夏休み期間中の5日間実施(21/90ヶ所)
- ・小学校給食調理室のほか、給食センターから配送
- ・事前申込制(300円/回)

配送校	1日	2日	3日	4日	5日
4小					
元八東					
元木					
陶鎔	第一	54			
	第二	30	35	33	35
センター		45	45	45	45
合計		334	351	336	351
					266

- ・利用者からは感謝の言葉のみ
- ・実施日数を増やして欲しいという希望が多数

令和4年8月1日  
第四小学校の学童昼食の様子  
はちっこキッチン元横山から配送



出典:八王子市学校給食課

2022.7.22作成

# 児童ホームに給食を

## ●秦野市での導入パターン

### ・夏休み期間中に実施

夏休み前後を含む給食未実施期間は**平均30日間**(平日のみ)  
盆、施設メンテナンス及び新学期準備期間を除く**最大15日間**程度で実施

### ・はだのっ子キッチン(給食センター)のみで実施

### ・事前申込制

夏休み前に申込書及び献立表を配布し、**配食数を確定**する。

### ・給食費の徴収

児童ホーム利用料と**併せて徴収**

### ・利用者数見込み

$1,113$ (R4利用者数)  $\times$   $90\%$ (週3日以上利用)  $\div$  **1,000人(最大)**

# 導入の効果

- ・新たな委託業務として調理、配送に係る人件費等の事業費が発生する
- ・児童ホームと学校給食の所管部局の連携が必須
- ・配食に当たる指導員の研修等が必要 etc.

## 効果

- ・夏休み期間の**保護者の負担が軽減**される
- ・栄養バランスの取れた給食が、**児童の健康維持増進**につながる。
- ・導入実績が少ないため、**子育て施策の特徴**となる。



## 5. 提言②

SHOGAKKO × KITCHEN



# 提言② SHOGAKKO × KITCHEN

## ～小学校給食とはだのっ子キッチン～

### 提言の目的

給食センターを活用して、小学校給食の経費を削減すること。

# 小学校給食の現状

## ● 直営：市職員（行二・再任用職員が調理業務に従事）

【実施数】 4校（南ヶ丘、広畑、上、東）、

【人員】 R4.11月現在 正規10人＋会計年度11人 計21人

【提供数】 1,320人分の給食

## ● 委託：民間業者に給食調理業務を発注

【実施数】 9校（直営以外の小学校）

【方式等】 入札による長期継続契約。人員は落札業者が判断。

【提供数】 6,233人分の給食

# 小学校、中学校の児童・生徒数の将来推計

単位:人

将来人口の展望		H32 2020	H37 2025	H42 2030	H47 2035	H52 2040	H57 2045	H62 2050	H67 2055	H72 2060
実数	合計	166,169	162,803	158,999	153,834	148,582	143,044	137,840	132,477	126,957
	年少人口	19,189	17,966	18,105	17,854	18,611	18,464	18,694	18,184	17,916
	生産年齢人口	98,857	95,361	90,615	84,888	77,152	71,454	66,761	63,358	61,509
	老年人口	48,123	49,476							
構成比	年少人口	11.5%	11.0%							14.1%
	生産年齢人口	59.5%	58.6%							48.4%
	老年人口	29.0%	30.4%							37.4%

年少人口(0~15歳未満)は年々減少!  
 10年後には1000人以上減る見込み  
**⇒年少人口が減ると給食数も減る**

# 小学校給食の維持管理費

## 設備費用の推移

設備等の維持費は徐々に増加  
R3平均: 約545万円/校

年度	H29	H30	R1	R2	R3
020 小学校給食事業費	323,152,963円	363,208,008円	331,825,867円	353,425,194円	380,559,767円
001 小学校給食調理経費	242,225,359円	253,914,220円	251,101,382円	262,557,449円	269,862,189円
002 小学校給食設備等維持管理費	47,021,952円	72,938,504円	42,616,359円	52,120,583円	70,882,932円
003 準要保護児童給食費扶助費	33,239,892円	35,716,985円	34,810,837円	37,494,896円	38,999,312円
004 小学校給食事務費	665,760円	638,299円	3,297,289円	1,252,266円	815,334円

# 小学校給食の課題

## 小学校給食の現状

- ・給食の配食数は今後減少する見込み。
- ・給食設備の維持管理、インフラ等の費用は徐々に増加。

## 課題

児童数が減少する一方、給食設備は老朽化し、維持管理費が年々増加している。



給食センターを活用して小学校給食の経費を削減できないか？

# 給食センターの状況

## 1 提供食数

提供食数は1日当たり最大4,500食とし、アレルギー対応食100食以内を含む調理に対応可能な施設としてください。

なお、年齢別人口推計では、提供開始から10年後の令和13年度(2031年度)には、1,000食程度減少する可能性があります。

年度	生徒数	教職員数	事務職員等	必要食数
平成30年度 (実際の生徒数)	4,249人 (3,967人)	287人	30人	4,566食
令和元年度 (実際の生徒数)	4,222人 (3,989人)	287人	30人	4,539食
令和2年度	4,220人	287人	30人	4,537食
<b>令和3年度</b>	<b>4,200人</b>	<b>287人</b>	<b>30人</b>	<b>4,517食</b>
令和4年度	4,224人	287人	30人	4,541食
令和5年度	4,168人	287人	30人	4,485食
令和6年度	4,050人	287人	30人	4,367食
令和7年度	3,955人	287人	30人	4,272食
令和8年度	3,887人	287人	30人	4,204食
令和9年度	3,826人	287人	30人	4,143食
令和10年度	3,682人	287人	30人	3,999食
令和11年度	3,532人	287人	30人	3,849食
令和12年度	3,357人	287人	30人	3,674食

「なお、年齢別人口推計では、提供開始から10年後の令和13年度(2031年度)には、1,000食程度減少する可能性があります。」

中学校給食では当初から給食数の減少を見込んでいる…



中学校給食が減少したら、空いた調理設備を小学校給食の調理に使えるのでは？

秦野市学校給食センター(仮称)施設整備及び運営事業公募型プロポーザル実施計画

# 小学校給食のセンター集約による費用対効果

小学校2校(児童1,000人)の小学校給食を  
学校給食センターに集約すると...

●給食設備等の維持管理費

約545万円×2校＝年間**1,090万円**

調理の委託料を  
同額とした場合

年間1,090万円の経費を削減できる可能性がある!!

センターへの集約で、調理の委託料も削減できる可能性がある



# 事業費の比較(児童500人×2校)

## ● 小学校給食

R4委託契約額: 2億4,850千円 ÷ 6,233人  
= 児童一人当たりの委託費 **約4万円**

- ・委託費: 年間約4万円 × 1,000人 = 約4,000万円
- ・給食設備等の維持管理費: 約545万円 × 2校 = 約1,090万円  
⇒ 年間**5,090万円**(調理+維持管理費)

## ● 学校給食センター

- ・年間事業費約3億円 (運營業務費: 2億1千万円、建設事業費: 8,800万円)  
運營業務費(調理+維持管理費) = 210,000,000円 / 4,350人 ÷ **48,270円/人**  
**1,000人分** ⇒ 年間**4,827万円**(調理+維持管理費)

1,000人あたりの事業費 → **給食センターが263万円低い**

# 小学校給食のセンター集約による効果

- ・中学校給食とは別の人件費等
- ・児童にも適した給食（食材の大きさや味付け）
- ・配送用トラックの経路や台数の再検討 etc.



## 効果

中学校給食で使われなくなる設備を有効活用して…  
**小学校給食の経費削減ができる!**

# 5. 提言③

CHIIKIKKO × KITCHEN



# 提言③ CHIIKIKKO × KITCHEN

## ～こども食堂とはだのっ子キッチン～

### 提言の目的

給食センターを活用して、こども食堂をサポートすること。

# こども食堂の状況

## ●こども食堂

- ・地域の市民団体等が定期的開催
- ・無料又は低額で食事を提供し、子供に限らず大人も参加できる。
- ・多世代交流の場や子供の居場所づくりなど、地域で子供を見守る拠点としての役割を担っている。





# 『こども食堂等』一覧

「みんなの食堂☆広畑」から

No.	名称	会場	開催日/時間	参加費
1	みんなの食堂☆広畑	広畑ふれあいプラザ	第1・3金曜日 18:30~19:30	子ども 無料 大人 300円
2	みんなの食堂・西	西公民館	第3水曜日 16:00~18:30	子ども 無料 大人 300円
3	みんなの食堂☆つるまき	サンライフ鶴巻	第2水曜日 17:00~18:30	未就園の子ども 無料 子ども 100円 大人 300円
4	みんなの食堂ラパニス	秦野精華園 新作業棟1階	毎週水曜日 7:00~8:00	100円
5	たまりば	①渋沢公民館 ②堀川公民館	①第3金曜日 16:00~20:00 ②第4月曜日又 は火曜日 15:00~17:00	2歳以下 無料 3歳~小学生 200円 18歳以上 300円

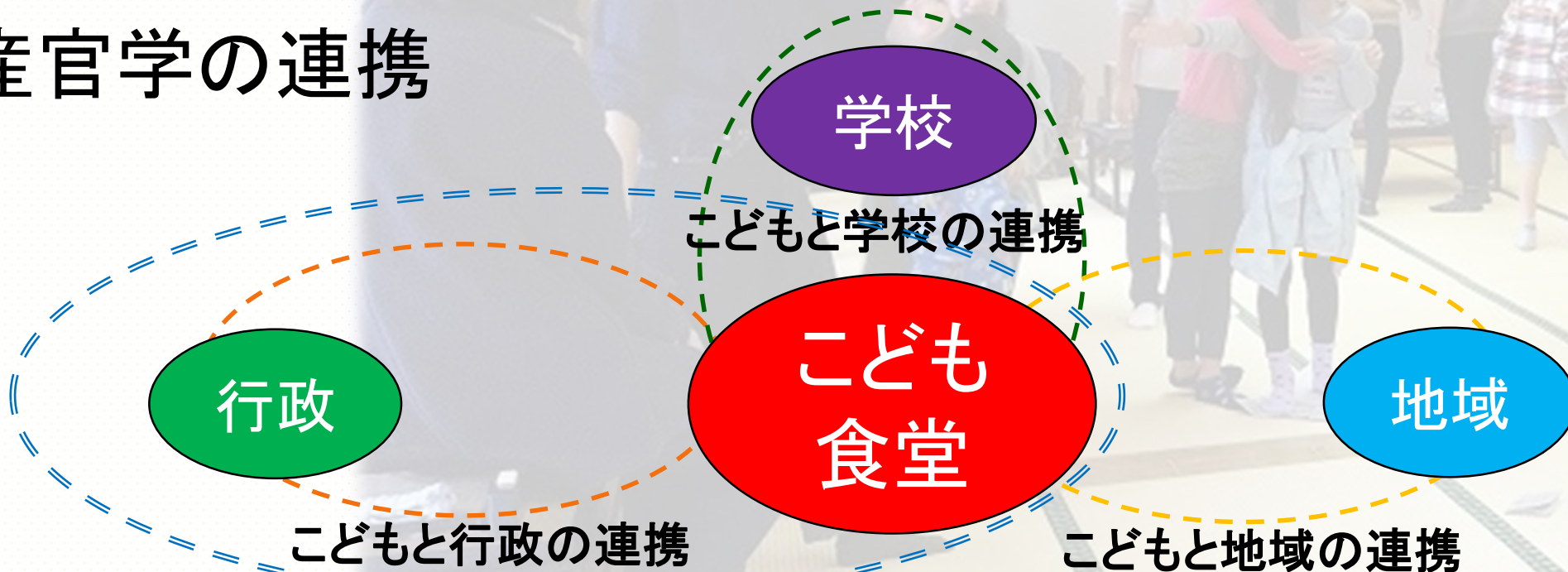


出典:みんなの食堂☆広畑

# こども食堂を取り巻く環境

こども食堂は、**地域が主体**となって運営することが本来の役割であることから、**行政はその手助けに留めることが望ましい**。

## 産官学の連携



# こども食堂の課題

## みんなの食堂☆広畑

- ・小田原のフードバンクが行うフードパントリーを月に1回利用している
- ・食材を提供してくれる農家等には毎回取りに行く

課題

こども食堂は、毎回の食材調達が大変



給食センターを活用して食材調達をサポートできないか？

- フードバンク: 個人や企業から寄付された食料を福祉団体などに提供する仲介組織
- フードパントリー: 食材を無料配布する活動



# 食糧支援事業の事例

## 秋のリユース！ もったいない Day！

家庭から出た不用品を低価格で販売します！

2022  
11 / 12 (土)  
AM 9:00 ~ 11:00  
(商品がなくなり次第終了)

場所：環境資源センター ※中野市東野店近  
楽野市名古木409番地 P 臨時駐車場 60台  
※雨天中止。また、新型コロナウイルス  
感染症の感染拡大防止により、中止になる可  
能性があります。

●当日午前中は粗大ごみの自己搬入を休止させていただきます ●資源物の自己搬入は通常どおり

### 過去の開催時の様子



お一人様  
9品まで！  
※粗大等、資源物の  
搬入はできません。

●参考価格  
●クリアケース100円～ ●カラーボックス300円～ ●テーブル300円～ ●イス300円～  
他にも多数展示販売します♪

### ◆会場内同時開催イベント◆

#### ●フードドライブ

※開封、賞味期限3ヵ月以上  
かつ常温保存可能な食品の持ち  
寄りをお受け付けます。

※持ち寄りできない食品は  
楽野市社会福祉協議会等を通じて  
必要とする人へ提供します。

(※当日、配布は行いません)

○フードドライブに食品をお持ち寄りのいただいた方に**商品券**を差し  
上げます♪

#### ●もったいないガレージ

未使用の食器、未使用のえんぴつなどを無償配布！  
ご自由にお持ち帰りいただけます。



【主催】  
楽野市環境資源対策課  
【お問い合わせ】  
環境資源センター  
楽野市名古木409番地  
電話82-4401

生活援護課

## 11月3日市民の日 はだのにこここフードマーケット 食糧品回収ブース

「はだのにこここフードマーケット」は、ご家庭で眠っている食材等を寄附いただき、支援を必要とする方々に配布する仕組みです。

11月3日の市民の日に回収ブースを出展し12月17日に食糧支援事業を実施します。  
提供いただける支援はありませんか？

### ●物資の寄附

- (1) 食糧品 (例：お米、インスタント食品、お菓子、調味料など)
- ア 賞味期限が令和5年1月以降であること
  - イ 常温保存が可能であること
  - ウ 未開封であること
  - エ アルコールは除く(みりん、料理酒は可)
- (2) 日用品 未開封のもの
- (3) 子供服 未使用のもの

### ●時間の寄附

食糧支援事業の仕分け作業や当日配布作業に御協力いただけるボランティアを募集します。応募は右のQRコードから、申し込みフォームをお願いします。

前日仕分 午後4時から午後7時 仕分け、会場設営等  
当日配布 午前9時から午後1時 配布、会場整理等  
場所 楽野市役所本庁舎、楽野精華園、西公民館



お問い合わせ  
楽野市 生活援護課 0463-82-7393

食糧支援事業 申込フォーム  
ホームページ

環境資源対策課

ご家庭で眠っている食品のご提供 **実施中**

# フードドライブ

令和4年  
期間 **11月1日(火)～12月30日(金)**  
場所 **中栄信用金庫 各店舗**

フードドライブは、家庭で眠っている食品をご提供いただき、フードバンクを通して、食べ物に困窮する家庭や施設に届けます。食を通じた分かち合いをすすめ、食品ロスをなくす運動です。

### 提供できる食品

- 常温で保存できるもの
- 開封されていないもの
- 賞味期限が明示され、残り2か月以上あるもの

### 喜ばれる食品

主食になるもの……お米・麺類(ソウメン・パスタなど)  
栄養補助食品、カップめんなど  
おかずになるもの…惣菜の缶詰・のり・お茶漬け・  
レトルトカレーなど  
その他……お菓子・ベビーフード・ミルク・  
フルーツの缶詰・飲料・調味料・食用油など

### 寄贈された食品の管理と活用

寄贈された食品は、フードバンクかながわで管理し、行政・社協の相談窓口、地域のフードバンク等を通して食料を必要とする人や、子ども食堂・母子支援施設などに届けます。フードバンクかながわは、神奈川県生協・労働団体・JA・市民団体12団体により設立され食料支援活動を行っています。

### ご注意ください

#### 提供できない食品

- ◆ アルコール類 (お酒・みりんなど)
- ◆ 生鮮食品・冷凍・冷蔵食品
- ◆ 賞味期限の記載がないもの (お菓子の小袋などご注意ください)
- ◆ 賞味期限2か月未満のもの
- ◆ 外装が破れているもの

フードバンクとは  
「フードバンク」とは、品庫に届かないものの、大切に育てられたい食品を無償で提供し、行政・社協・社会福祉協議会・支援団体を通じて、食べるものがなく困窮している方へお渡しする活動です。1990年に米国で生まれ、日本でも広がっています。

公益社団法人フードバンクかながわ  
〒236-0051 横浜市金沢区富岡2-4-45 TEL. 045-349-5803 FAX 045-349-5804  
info@fb-kanagawa.com フードバンクかながわ 検索



# フードドライブの事例

## ●八王子市の事例

・日々巡回しているゴミ収集車で、**収集と併せて毎日フードドライブ**を実施している。

なお、全国の自治体で、八王子市はごみの少ない都市とされている。



出典：八王子市ホームページ

●**フードドライブ**：家庭などで食べきれないで余っている食品を持ち寄り、施設やフードバンクなどに提供・寄付する活動



# こども食堂の手助け提言（運営サポート）

## ●フードドライブの実現

日々巡回している**ゴミ収集車**で、農家で廃食材となる規格外野菜や各家庭の食料品、家庭菜園の野菜を回収（頂戴）する。

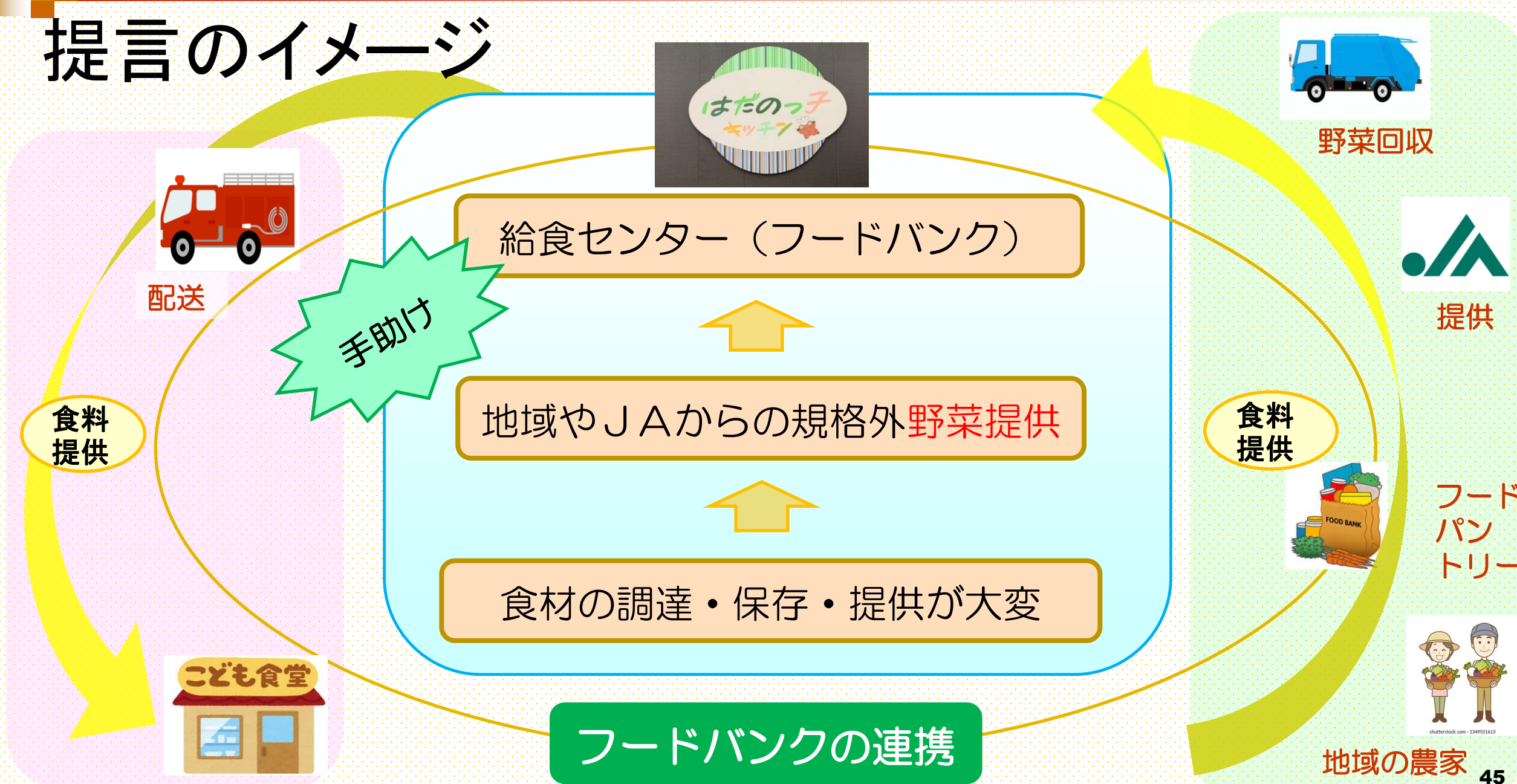
## ●フードバンクの実現

**給食センターの大型冷蔵庫**にフードドライブで回収した規格外野菜を保管する。

## ●フードパントリーの有効活用

給食用の納品分とは別に、規格外野菜等を提供してもらい、こども食堂に取りに来てもらう。または、**消防車等の事務連絡便**を利用し、こども食堂に届ける。

# 提言のイメージ



給食センター（フードバンク）

手助け

地域やJAからの規格外野菜提供

食材の調達・保存・提供が大変

フードバンクの連携



配送

食料提供



野菜回収



提供

食料提供



フードパントリー



地域の農家



7. まとめ

MATOMEKKO × KITCHEN

## ～まとめ～

### 1. JIDOKKO × KITCHEN

児童ホームへの給食提供は保護者の負担を減らし、子供の心身の成長を促すことにつながる

### 2. SHOGAKKO × KITCHEN

喫食数が減少しても小学校給食にはだのっ子キッチンを活用することで、施設の有効活用と既存調理室の維持費の削減につながる

### 3. CHIIKIKKO × KITCHEN

はだのの食を支える地域拠点としてサポートすることで、担い手の負担軽減やフードロス対策につながる

御清聴  
ありがとうございました

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

